

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京都立北療育医療センター城南分園（保育所等訪問支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が連携して支援を行うことができる。	多職種の連携を図るため会議を開催し情報共有及び計画や支援方針について検討している。 訪問先でのお子様の様子を動画で共有し、訪問支援員以外の職種の意見も取り入れている。	ニーズに応じて、訪問支援員以外の職種も会議に参加できるように図る。
2	診療所として専門の小児科医が常駐し、また、個別支援を実施しているため、対象児の疾患や発達状況等を把握した上で支援を行うことができる。	医師、歯科医師による診断を参考にしながらお子様の発達状況に応じた支援や助言を行う。 個別支援での様子を訪問先施設の職員と共有しながら、訪問先施設での生活に合わせたアドバイス等を行っている。	訪問支援を実施する中で様々な角度から本人に必要な支援を検討し、必要に応じて新たな個別支援を受けることをご案内していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問予定日を柔軟に調整できない。	・訪問支援員は外来及び児童発達支援の利用者を対象とした個別支援と保育所等訪問支援事業を兼務しているため、訪問予定日は、個別支援の予約枠を考慮する必要がある。 ・東京都立であるため訪問先エリアが広く、訪問施設までの移動時間がかかり、上記の予約枠を1日の半分以上、空ける必要がある。	・訪問先滞在時間の検討 ・交通手段の検討
2			
3			